

平成29年度 第7回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：平成30年3月27日（火）午前10時～

場所：犬山市役所2階205会議室

出席者：18名中12名

1 開会

- 【事務局】 開会の挨拶を行う。
委員交代の紹介を行う。
傍聴者（3名参加）について、説明を行う。

2 あいさつ

- 【磯部会長】 挨拶を行う。
【事務局】 犬山市地域公共交通会議の委員数18名に対し、本日は12名が出席されている。過半数をこえているため、本日の会議が成立していることを宣言する。また、代理出席、配布資料について説明を行う。
【磯部会長】 議事録の署名者に松浦委員と小川委員を指名する。

3 議事

(1) 協議事項

■ 平成30年度再編（ダイヤ案）について

- 【事務局】 資料1の説明を行う。
【杉本委員】 今回のダイヤ案は最終案ではなく、ルート案やバス停の位置あるいは道路管理者等々の協議経過や詳細な図面等が付いてないので、おそらく今回の意見を踏まえて再修正し、次回の会議で最終提案があって、合意を図っていくというスケジュールだと思う。今回提示のダイヤ案のうち、内田線と上野線については、これまで別々の系統であったものを統一したことになる。上野線が仮称内田・上野線として始発時間が8時から7時35分へ、終着時間が17時41分から17時03分になっているが、終着時間については上野南の時刻になっている。実際の終着時刻は17時41分の上野南が16時48分になると思う。17時03分というのは犬山駅西口に着く時刻になるので、対比の仕方を見直していただきたい。また、犬山駅西口の発車時刻が17時24分から16時31分に変わる部分もあるので、次回提示の際には、それぞれのバス停における終着時刻がどうなるのかなど、もう少し細かな説明をしていただいた方が良いでしょう。犬

山駅や善師野駅等の駅に関しても、列車の時刻との調整が重要な部分になってくると思われるので、その点も次回の資料で示していただくと有難い。

また、今回の再編でこういった利用が出来る、こういったことが可能になるというところもしっかりPRしていく必要がある。冒頭で説明があったように法令順守を基本に実証運行をして設定されたということはよろしいかと思われる。乗務時間等に関する部分では、法令等が非常に厳しくなっているので、そういったところは引き続き運行事業者としっかり調整をいただきたい。

【会長】 いくつかでしたが、事務局から対応願います。

【事務局】 杉本委員からのご意見のとおり、2月の会議で提案させていただいたルート案と、今回のダイヤ案は最終決定ではございません。ルートについては現在、道路管理者と公安委員会との協議を進めており、今回の協議結果を基にバス停位置の微調整をします。バス停位置を確定させた後、ダイヤ案も修正を加え、次回の会議で最終案を提示できればと思っています。今回は、ダイヤ設定に関する留意事項をはじめ、パターンダイヤや便数というものの大枠をお示ししたかったというところもございます。電車との接続も次回の会議にはお示しさせていただければと思います。ご指摘がありましたとおり、現行との比較であれば1時間ほど終着時間が早くなる場所がありますので、こういったところも次回きちんと見やすい形でさせていただきたいと考えております。

【磯部会長】 確認ですが、内田線と上野線は2種類の路線になるのか。

【事務局】 現行は内田線と上野線で2路線それぞれございますが、今回の再編案ではこの2つを1つのバスが走るといような形になります。ダイヤ案を見ていただければと思いますが、1便目は「鶴飼町」と記載のあるバス停の7時32分発が始発点になります。ここは現行でいうと内田線になります。井堀町北に向かい、次のバス停が現行路線ですと犬山高校方面、犬山駅西口へ戻りますが、8番目の「木曾川緑地公園」は、現行路線の上野線になり、上野方面を回り、犬山西部交番を経由し、犬山高校、駅前通り、犬山駅西口に戻ってきます。これが内田・上野線の再編のルートです。次にA3資料の右側の表の犬山駅西口から市役所、専正寺町、南笠屋、橋爪変電所と、現行の内田線をなぞっていくような形になり、上野こせんきょう東、伊藤整形付近、第一名犬ハイツ北、第一名犬ハイツ南、五郎丸北、総合犬山中央病院へ行くルートです。そして、総合犬山中央病院からまた同じ様に折り返してきて犬山駅西口に着く。これが一応便宜上、上下1便目というように示しております。上りの2便目9時01分犬山駅西口発から再度ご説明申し上げますと、現行の内田線を通り、犬山遊園駅、西大門先、城前広場、鶴飼町、井堀町北と停車し、そこから上野線に向かいます。上野方面を通

って犬山西部交番、西公民館北、犬山高校、駅前通り、犬山駅西口というように上野線と内田線をミックスさせたルートになります。9時33分犬山駅西口到着後、下りの2便目として17分間休憩があり、9時50分に犬山駅西口を出発して、市役所、専正寺町、南笠屋というように内田線をなぞり、総合犬山中央病院に着くような動きをバス1台がするようになります。少し分かりづらくはすけれども、今回はこのような形で考えております。

【会長】 分かりました。いわゆる八の字運転という動きで、犬山駅西口を中心として北側を回り駅に着いて、次は南の方を回って戻ってくるということであり、この二つの動きを1本の路線の運行と考えていくので、トータルで1つの路線名にしたいということである。お金も1回払えば八の字全部回れる。気になる点は、始発終発も半分で考えるのか全体で考えるのか。もう一つは犬山駅と総合犬山中央病院では多くのバスが発着するので、バス停のキャパシティは大丈夫か。犬山駅は余裕があるでしょうが、総合犬山中央病院は大丈夫か。

【事務局】 一概に集中するという事はあまり考えてはいないです。ただ犬山駅と総合犬山中央病院との行き来で使われる方には利便性は高まると思います。

【会長】 追加資料を見ると、犬山駅発の左から2番目、楽田西部線が8時50分、一番右側の今井・前原線も8時50分で同じ時刻に2つ並んでいる。総合犬山中央病院を見ると、楽田西部線が8時20分着で、今井・前原線も同じ時間帯となっている。同時に2台停まるスペースを確保しないといけないが、その点は大丈夫か。

【事務局】 総合犬山中央病院においては、スペース的な部分の懸念がありますが、同時間は2台までであり、3台が同時ということは無いように設定させていただいております。犬山駅については東口の発着が7路線のうち4路線、西口の発着が3路線になるので、それぞれがかぶることはありません。こちらも次回の会議では、犬山駅西口と東口で分けてお示しさせていただきます。

【会長】 それで同時にバス2台は大丈夫なのか。

【事務局】 公安委員会や道路管理者としっかり協議を進めていきます。

【会長】 地域の方々への周知方法が重要かと思う。実際にダイヤが示されると、特に始発終発の時間が気になる。毎時運行として増えていくのは良いのだが、懸念されるのが1日の運行便数が圧縮されるので、そういうことによるデメリットを感じる人がいないか。その辺りの利用者の方々や想定される利用者の方から何か意見があると良い。事務局として把握しているか。

【事務局】 犬山市のコミュニティバスの使われ方として、1日に何度も利用するというより病院や買い物も行き帰りに使われることがほとんどかと思っております。今回の再編では

便数は減ってしまいますが、ダイヤに合わせた生活スタイルを利用者の皆さまにご理解いただき利用を促していきたいと考えています。駅や施設との連携もアピールしていきたいと考えております。

【会長】 承知した。

【松浦委員】 パターンダイヤで時間を分かりやすくと言われましたが、乗られる方はそんなに30分だろうと20分だろうと25分だろうとあまり気にしないと思う。例えば、総合犬山中央病院同時着の2路線どちらかを25分にして、同時着は避けたほうが良いかと思う。片方を5分ずらした方が良いのではないか。

【会長】 分かりました。こうやって追加資料を整理していくと見えてくる問題がある。特定の重要な場所に集中させることも1つのメリットである。路線図全体で見た場合、犬山駅に停まる、総合犬山中央病院に停まるというのは大事だが、そこで混雑や乗り間違えが起きると、逆に不都合となる。そうなるならば、最初から時間をずらしておいた方が安全というご提案なので、全体的に見直してください。

今日のところは最終案ではなく、事務局がどういう方向性でダイヤを検討していくということを説明するものである。今後のスケジュールが後ほど説明されると思うが、これをベースにしていろんな方々と協議を図っていく。特に道路管理者と公安関係者は一番大事だが、住民側にも周知してもらって最終案を決めていく。今日はあくまでも方向性を承認するという形で決を採りたいと思うがよろしいか。方向性についてお認めいただき、異議なしでよろしいか。

【委員】 異議なし。

【会長】 異議なしということで、今の意見も加味して進めてください。委員の皆さまありがとうございます。それでは議事としてはこれで終了とし、進行は事務局へお返しします。

(2) 報告事項

■ 平成30年度再編スケジュール(案)について

【事務局】 資料2の説明を行う。

【杉本委員】 今回の再編に関して、変更の有無はあるが、近隣市町への乗り入れの部分、大口町や小牧市での会議で協議いただき、双方で合意を得ていただくというのが必要かと思う。両関係市町との調整をお願いする。

【事務局】 ありがとうございます。両市町につきましては調整して参ります。他の方はよろしいでしょうか。それでは質問無いようですので、会議を終わらせていただきます。磯部会長におかれましては会のとりのまとめをありがとうございました。委員の皆さまにはご審議をいただきありがとうございました。以上で本日の会議を終了いたします。

なお、本日の会議をもちまして平成29年度の犬山市地域公共交通会議は最後となります。委員の皆さまにおかれましては、例年よりも多くの会議に出席いただきまたご審議いただきましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

次回の平成30年度第1回の会議は6月中下旬頃を予定しております。来年度の再編が成功するよう地域安全課一丸となって準備等を進めてまいりますので、引き続き委員の皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。

お帰りの際は交通安全にご留意いただきますようお願いいたします。本日は本当にありがとうございました。

以上

平成30年5月1日

本書は、平成30年3月27日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 松浦 秀則

署名人 小川 健司